

EG WAY OUTを導入したことで排気ガスの悩みを解決。フェラーリ・モデナのマフラーエンドに合わせてアタッチメントもオーダーした。



クラブの友人WさんがドライブするジネッタG4は2007年型。1800ccエンジンを搭載。オールカーボンボディで、年間10台も製造されないイギリスのキットカーだ。

テラコッタを敷き詰めたガレージ。 排気ガスを排出させる機能を追加。

山形県 N邸

2つめのガレージ建築をしたNさん。

悩みは冬場に行なうガレージでのエンジン暖気。

そこで、排気ガスの悩みを解消するためにシステムを導入した。

それが排気ダクト排出システム「EG Way Out」。

photo / Masatake-ISHIKO (石河正武) text / Jun-ISHIHARA (石原 淳)
special thanks to SAFTY LIFE phone / 052-221-8684 http://www.safety-l.com

11

GARAGE LIFE EXAMPLE

東北地方の日本海側に面して全国生産量7割を占めるさくらんぼが有名な山形県。冬になると雪に覆われて、クルマでの外出が厳しくなる地域に在住のNさん。庄内地方にはクルマ好きも多く、カークラブ「SHONAI SPORTS CAR CLUB」には18名のメンバーが所属し、スーパーカーやクラシックカーを愛する仲間が多い。年に数回のツーリングなどを通じて、情報交換をしてクルマ趣味を満喫している。2011年度は震災の影響もあり、十分な活動ができなかったというのが今回のガレージ取材をさせていた

だいたNさんもカークラブメンバーの1人。2002年式フェラーリ360モデナを所有し、月に数回ドライブにでかけている。

Nさんの母屋は1998年に建築。その後、別棟のガレージを建築しガレージのロフトで趣味を楽しむ予定だった。しかし住宅とは異なり、冷暖房のことや断熱のことを考慮しなかったガレージは夏が暑く、冬は寒いという環境だったため思うようにガレージで過ごすことができず2008年、敷地内に2つ目のガレージを建築することになった。それが今回取材させていただいた趣味のスペース。図面をNさん自身が描いて、地元の建築会社に希望を出した。ガレージ横には趣味の部屋と位置づけ音楽を楽しむスペースを併設したもので、ガラス越しに大好きなクルマを眺めることができる。テラコッタを敷き詰めたガレージ床面は満足いく仕上がりになったが、Nさんは1つだけ悩みを抱えていた。それが山形県は前述のように12月から3月までは雪に覆われてしまいクルマのドライブができないため、月に数回、ガレージのなかでエンジンを始動させエンジンオイルを循環させていたが、排気ガスがガレージに充満してしまうという問題だった。ガレージの建築時に換気扇を設置していたものの、排出させる風量が少なくガスが充満することが気になっていた。そこで巡り合ったのが



11

ガレージのサイドにオーディオルーム。
大きなガラスから愛機が確認できる。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.N

オーディオルームには1957年に誕生した3ウェイスピーカー・JBL製のパラゴンのスピーカーが設置。低音を奏で、人気のスピーカーとしてファンも多い。

上/壁面に飾られたエンツォ・フェラーリのイラスト画とフェラーリの三面図。
下/パラゴンスピーカーの設計図、イラストを額装してディスプレイを見ても愛着があることが分かるだろう。



「セーフティライフ」の排気システム。

Nさんは2011年に開催されたガレージングEXPOに足を運び、現物を確認してから注文。クルマのマフラーに合わせてアタッチメントも製作してもらい、排気ガスを強制的に屋外に出すことで排気ガスがガレージのなかに充満することを防ぐシステム。「セーフティライフ」が開発したEG Way-Out System

は、排気ダクトは延焼しない素材で製作。二重になっているため丈夫で、標準のモーターも静粛性を保ち稼働していても音が気にならないのが特徴だ。「クルマのマフラーエンドに合わせたアタッチメントも作成してもらえるのは安心してオーダーできる」とはNさん。価格も手ごろだったのもよかったと、現在もエンジンを暖気するときには必ず使用して強制的に排

気ガスを外部に排出させている。

ガレージにはテラコッタの床、レンガの壁面、そして木製の「三和シャッター」製のオーバースライダーにこだわるなど、過去にGarageLife誌に登場したガレージを参考にして部材にこだわることでNさんにとって満足のいくガレージに仕上がった。取材当日は、カークラブの友人Wさんがイギリスのライ

音の響きにこだわった25畳のオーディオルーム。落ち着いた雰囲気にするために色の濃い床面を選んでいる。ライトもスポットライトと蛍光灯を使い分けができ調光できる仕組み。



N邸の1つめのガレージ床面はスタンプコンクリートを施工。2階にロフトが設けられ、趣味部屋として使う予定だった。

11 PLANNING DATA & MATERIALS

趣味を満喫するためのガレージ造り。
部材にこだわり、納得のスペースに。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.N



トウエイト・スポーツカー・ジネッタG4に乗ってオーディオルームに立ち寄った。オーディオルームにはNさんが念願だったJBL製パラゴンのスピーカーを設置。このスピーカーは職人により手づくりで製造されたもので、家具のような美しいデザインが特徴である。Nさんがおもむろにリモコン一つを操作すると、150インチのスクリーンが降りてきて映像も楽しめるスペースにも早変わり。最近では息子さんのピアノとNさんがクラシックギターのセッションをするスペースともなるそうだ。仕事が多忙なNさんにとっては、仕事を終え夜、クルマを見ながら聞くクラシック音楽が至福のときという。今年の冬は排気ガスに困ることなく、クルマのエンジンサウンドも楽しめる空間となるはずである。

リモコン操作で160インチのモニターがセットされ、シアタールームへと早代わり。オーディオは福岡市のプロショップによってセットしてもらった。



東京の「イタリア自動車雑貨店」にて購入したグローブ。額装されてきれいにディスプレイされる。



1/木目のガレージドアを希望して「三和シャッター」ゼウラを導入。ガレージまでのアプローチもモルタルとテラコッタで仕上げている。2/ガレージには既製品の換気扇はあるものの、フェラーリの排気ガスの量が多いため、EG WAY OUTを導入。強制的にモーターにより排気ガスを排出させる。3/「セーフティライフ」の製作によりクルマにあわせた専用アタッチメントを製作。排気漏れなどなく、無駄のない排出が可能だ。4/ガレージの壁面はアンティーク風のブリックタイルを貼り、クラシック調のガレージに仕上げている。5/床面はテラコッタのタイルを敷き詰めた。厚さも8mmと1500kgの360スパイダーの車重量でもクラックが入らないように配慮した。



SHONAI SPORTS CAR CLUBの友人、Wさんと記念の撮影。施工主のNさんはブログも展開中。
<http://cookiegarden.blog.so-net.ne.jp/>でチェック。

P PLANNING DATA

所在地 山形県
施工主 Nさん
竣工 2008年11月
構造 木造在来工法
敷地面積 約1650㎡ (約500坪)
延床面積 不明
ガレージ面積 約48㎡
愛車 2002年 フェラーリ360モデナ
2008年 BMW X5
2008年 BMW 535i

O OWNER'S CHECK

- 一番気にしているところは？
ガレージの床面に敷き詰めたテラコッタのタイルと、今回導入した「セーフティライフ」の排気ダクトシステム。
- ちょっと失敗したところは？
明かりをとるために天窗を取り付けたが、シャッターレールが通ってしまったこと。
- 次の夢はなんですか？
まだ敷地には余裕があるので、もっと大きなガレージを建設したい。
- 読者へのアドバイス！
クルマの大きさを考えて、少しでも大きなガレージと考えていたが、いざ建てると狭く感じるものです。なるべく大きなガレージにしましょう。



エンツォ・フェラーリを愛するかのよう、コレクブルなアイテムを額装して飾るNさん。クルマを所有して3年、エンスー度は増すばかりだ。

